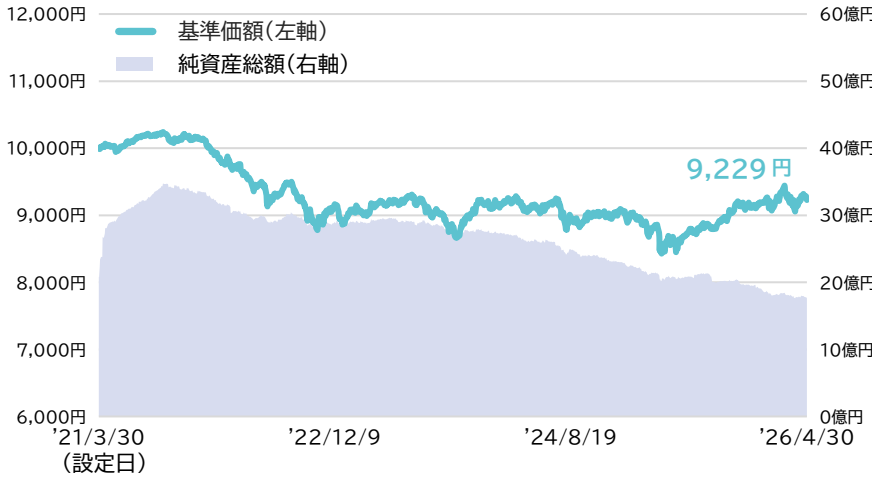


今月度号より、レイアウトの変更、開示項目の見直しを行なっております。

#### ■ 基準価額等の推移



#### ■ 運用成績

	ひふみらいと
1カ月	1.54%
3カ月	1.38%
6カ月	0.22%
1年	7.08%
3年	0.49%
5年	-7.90%
10年	-
設定来	-7.71%

#### ■ ひふみらいとの運用状況

基準価額	9,229円
純資産総額	17.63億円
受益権総口数	1,911,270,949口

#### ■ ひふみらいと投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.87%
ひふみ投信マザーファンド	4.90%
ひふみワールドファンド*	5.06%
現金等	0.17%
合計	100.00%

#### ■ 分配の推移

(1万円当たり、税引前)

第5期	2026年4月	0円
第4期	2025年4月	0円
第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
設定来合計		0円

※基準価額は1万円あたりです。また信託報酬控除後の値です。  
 ※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。  
 ※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額(10,000円)を起点として算出しております。  
 ※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。  
 ※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。  
 ※「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。  
 ※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。  
 ※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額(月次)と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。  
 ※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本的組入比率:「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」5%を維持することを目指して運用を行ないます。(市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります)各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

#### ■ 基準価額の変動要因

基準価額変動額(月次)	+140円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	+52円
ひふみ投信マザーファンド	+27円
ひふみワールドファンド*	+64円
信託報酬・その他	-4円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-30円
株式・投資証券	+88円
為替	+74円
信託報酬・その他	+8円

# ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

## ■ ひふみグローバル債券マザーファンドの状況

純資産総額	110.16億円
組み入れ銘柄数	26銘柄

## ■ 種別比率

国債	70.79%
社債	9.71%
住宅ローン担保証券	8.79%
地方債	5.10%
特殊債	3.39%
国際機関債	0.47%
債券先物取引	-16.43%
現金等	18.17%
合計	100.00%

## ■ 資産別比率

海外債券	63.62%
国内債券	34.64%
債券先物取引	-16.43%
現金等	18.17%
合計	100.00%

## ■ 格付比率

AAA	2.99%
AA	40.65%
A	48.83%
BBB	5.78%
BB以下	-

## ■ 組み入れ上位5カ国 比率

1 日本	39.54%
2 アメリカ	26.95%
3 フランス	7.56%
4 スペイン	5.90%
5 オーストラリア	5.10%

## ■ 組み入れ上位5通貨 比率

1 日本円	34.64%
2 米ドル	31.85%
3 ユーロ	18.39%
4 オーストラリア・ドル	5.10%
5 イギリス・ポンド	3.56%

## ■ ポートフォリオ特性値

最終利回り	3.88%
デュレーション	6.8

## ■ 為替ヘッジ比率

0.00%

## ■ 組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 日本国債(30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	11.66%
2 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2055/5/20	8.79%
3 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	8.51%
4 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	7.31%
5 日本国債(40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	7.30%
6 日本国債(20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	6.27%
7 フランス国債	国債	フランス	ユーロ	2034/11/25	6.00%
8 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	5.32%
9 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	4.45%
10 イギリス国債	国債	イギリス	イギリス・ポンド	2043/10/22	3.56%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。(Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成)

最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。

デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、外貨建資産の時価総額に対する為替予約評価額の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

# ひふみ投信マザーファンド 運用状況

## ■ ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	10,909.13億円
組み入れ銘柄数	67銘柄

## ■ 資産配分比率

国内株式	98.69%
海外株式	-
現金等	1.31%
合計	100.00%

## ■ 市場別比率

プライム市場	97.85%
スタンダード市場	0.85%
グロース市場	-
その他海外株	-
現金等	1.31%
合計	100.00%

## ■ 組み入れ上位10業種 比率

1 電気機器	16.36%
2 卸売業	14.59%
3 機械	11.69%
4 銀行業	9.02%
5 情報・通信業	7.56%
6 輸送用機器	6.48%
7 建設業	4.92%
8 保険業	4.65%
9 非鉄金属	4.34%
10 不動産業	3.87%

## ■ 組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	伊藤忠商事	8001	大型	プライム市場	卸売業	5.53%
2	丸紅	8002	大型	プライム市場	卸売業	4.97%
3	川崎重工業	7012	大型	プライム市場	輸送用機器	4.41%
4	住友電気工業	5802	大型	プライム市場	非鉄金属	4.34%
5	三菱地所	8802	大型	プライム市場	不動産業	3.87%
6	三井物産	8031	大型	プライム市場	卸売業	3.83%
7	みずほフィナンシャルグループ	8411	大型	プライム市場	銀行業	3.72%
8	東京エレクトロン	8035	大型	プライム市場	電気機器	3.47%
9	東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	3.08%
10	ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	2.96%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

# ひふみワールドファンド\* 運用状況

## ■ 純資産総額

132.24億円

\*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

## ■ 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.10%
現金等	-0.10%
合計	100.00%

# ひふみワールドマザーファンド 運用状況

## ■ ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額	3,389.09億円
組み入れ銘柄数	107銘柄

## ■ 資産配分比率

海外株式	95.41%
海外投資証券	-
現金等	4.59%
合計	100.00%

## ■ 組み入れ上位10カ国 比率

1	アメリカ	65.67%
2	イギリス	6.24%
3	台湾	4.87%
4	イタリア	3.53%
5	オランダ	3.00%
6	フランス	1.42%
7	ドイツ	1.39%
8	フィンランド	1.14%
9	アルゼンチン	1.06%
10	ウルグアイ	0.92%

## ■ 組み入れ上位10業種 比率

1	半導体・半導体製造装置	18.04%
2	資本財	13.90%
3	メディア・娯楽	8.14%
4	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.18%
5	金融サービス	6.43%
6	ソフトウェア・サービス	6.04%
7	一般消費財・サービス流通・小売り	5.58%
8	エネルギー	5.32%
9	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.01%
10	銀行	4.08%

## ■ 組み入れ上位10通貨 比率

1	米ドル	76.39%
2	ユーロ	7.51%
3	台湾ドル	4.87%
4	イギリス・ポンド	3.78%
5	ポーランド・ズロチ	0.79%
6	ノルウェー・クローネ	0.56%
7	スイス・フラン	0.49%
8	オーストラリア・ドル	0.44%
9	デンマーク・クローネ	0.38%
10	香港ドル	0.21%

## ■ 組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	NVIDIA CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.79%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	台湾ドル	半導体・半導体製造装置	2.78%
3	ADVANCED MICRO DEVICES, INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.78%
4	AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	2.74%
5	INTEL CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	2.74%
6	META PLATFORMS, INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	2.69%
7	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.64%
8	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.41%
9	BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	生活必需品流通・小売り	2.38%
10	SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.05%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT(不動産投資信託)等です。

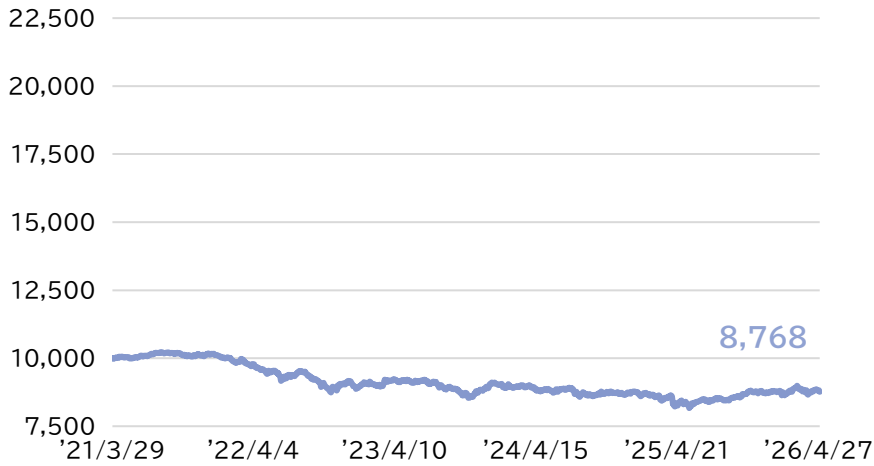
※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分してあります。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS(世界産業分類基準)の産業グループ分類に準じて表示してあります。

# ご参考:マザーファンド基準価額の推移と運用成績

期間:2021年3月30日~2026年4月30日

## ■ ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移



## ■ 運用成績

	ひふみグローバル債券マザーファンド
1カ月	0.64%
3カ月	1.18%
6カ月	-0.47%
1年	4.51%
3年	-4.44%
5年	-12.48%
10年	-
ひふみらいと設定来	-12.32%

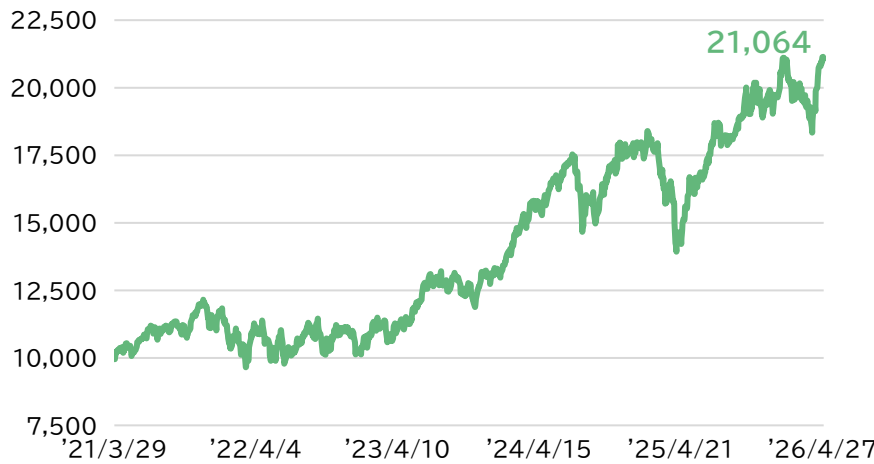
## ■ ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移



## ■ 運用成績

	ひふみ投信マザーファンド
1カ月	6.09%
3カ月	4.53%
6カ月	13.06%
1年	39.39%
3年	73.08%
5年	63.43%
10年	-
ひふみらいと設定来	59.78%

## ■ ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移



## ■ 運用成績

	ひふみワールドマザーファンド
1カ月	14.88%
3カ月	3.98%
6カ月	4.90%
1年	39.44%
3年	88.43%
5年	99.87%
10年	-
ひふみらいと設定来	110.64%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日(2021年3月29日)を10,000として指数化して作成しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日(2021年3月29日)(「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時)を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

## 運用責任者よりお客様へ：ひふみらいと

各投資対象ファンドについて、先月の投資環境や投資行動、今後に向けて議論していたことなどをお伝えします。

### 【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国の長期金利は小幅に上昇しました。4月の上旬から中旬にかけて、中東での停戦協議が進展していると報じられたタイミングでは長期金利が低下しましたが、下旬には再び停戦協議を巡る不透明感が強まり、原油価格が上昇に転じたのと歩調を合わせて長期金利が上昇しました。4月のFOMC(連邦公開市場委員会)では政策金利は据え置かれたものの、声明文において金融緩和方向の姿勢を示す文言を残すことに3名の参加者が反対するなど、タカ派(金融引締派)的と評価される内容であったことも長期金利の上昇要因となりました。

日本の長期金利も上昇し、一時1997年以来約29年ぶりの高水準をつける場面もありました。原油高と円安基調の継続により、先行きのインフレ圧力の高まりが意識されたほか、政府によるさらなる物価高対策が打ち出され、財政がより拡張的になることへの懸念が債券への売り圧力となりました。日本銀行の金融政策決定会合では政策金利は据え置かれましたが、「展望レポート」では物価見通しが上方修正されたほか、反対票を投じて利上げを提案した審議委員が3名に増えるなど、想定よりタカ派的な内容となりました。

### 【ひふみ投信マザーファンド】

4月の日本株式市場は上昇しました。米国とイランが即時停戦に合意したとの報道や、停戦を延長するとの観測が高まったタイミングで、上昇に弾みがつきました。特に海外短期筋によるものとみられる、先物主導・値がさ株(1単元あたりの株価の水準が高い銘柄)主導で相場が上昇しました。AIの恩恵を受ける、電線、半導体、電子部品などの株価上昇が目立ちました。当ファンドでは、中東情勢がサプライチェーンに及ぼす影響を鑑み、化学や自動車などのセクターを引き下げました。一方、割安だと判断した半導体関連銘柄や、銀行株などの積み増しを行ないました。

### 【ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用)】

4月の米国株式市場も反発し上昇しました。特にSOX指数(フィラデルフィア半導体株指数)が18日続伸するなど、半導体関連株が相場を牽引しました。当ファンドでは、割高感があると判断し、サプライチェーンへの影響が懸念される防衛関連銘柄をスライス(一部売却)しました。一方、中東情勢により景況感が悪化した場合に備え、ポートフォリオのリスクを抑える観点から、金融やヘルスケアのセクターを買い増しました。テック株については、半導体が好調であり、AIなどのストーリーは当面崩れないであろうことを想定し、厚めに保有することを継続しています。

引き続き、株式・債券チーム一丸となって、全力で運用してまいります。

(5月1日)



※TOPIXは、すべてTOPIX(配当込み)を用いています。TOPIX(配当込み)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社JPX総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅すると共に、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

## 運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

米国とイランが停戦合意し、最悪の事態は避けられる見通しとなりました。株式市場はいち早く回復しておりますが、債券市場は原油高の長期化からもたらされるインフレ圧力を懸念し、金利は高止まっています。

日本では買いのターゲットと広く目されていた10年金利2.5%に到達しましたが、積極的な買いは手控えられました。日本銀行は4月の金融政策決定会合での利上げに向けて準備を進めているものと見られ、市場の利上げ予想が高まる局面があったものの、「中心的な見通しの確度が今回はかなり低下した」ことを理由に利上げは見送られました。市場ではビハインドザカーブ、すなわち低金利を続けることによって将来インフレ圧力が高まり、想定以上の利上げを迫られるシナリオを警戒して金利上昇が進んだとされています。一方、我々は、NISAの普及やコーポレートガバナンスコードにおいて企業の現預金保有に圧力がかかっていることで、国内銀行から預金が流出していることが長期金利上昇の背景にあると考えております。すなわち、金利リスクの受け手が減少していることが原因であって、日本銀行が近々国債買入れの減額(QT)を中止または縮小する可能性が高いことを考慮すると、長期金利の上昇を過度に心配する必要はないと判断しております。

欧州では年内に3回の利上げが織り込まれており、米国でも利下げ織り込みはほぼ剥落しました。ホルムズ海峡が航行可能になるシナリオは見通しがたいものの、時間が解決する面が強いと見ています。米ドル、ユーロ建て債券への投資にはよいタイミングであると考えています。

為替に関しては、円は対ドルでほぼ変わらず、対ユーロでは小幅に円安になりました。ただし、月末引け後に介入と見られる動きがあったことにご留意ください。介入の規模が今後も継続するのか、ややタカ(金融引締)に振れつつあるFRB(連邦準備制度理事会)の動向、イラン情勢の好転が原油価格低下につながるのかなど材料が目白押しですが、円高方向に大きくトレンドが転換する可能性は低いと見ています。中長期的にも内外金利差を上回るほどの円高は起きにくいと見ており、為替リスクを甘受しつつ、外国債券の高い利回りを享受するのが望ましいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

(4月30日)



ひふみグローバル債券  
マザーファンド  
ファンドマネージャー  
福室 光生

### 債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス  
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル  
登録者数2万人突破！  
チャンネル登録をお願いします！

## 運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

2026年4月の日本株式市場は、中東情勢緩和やAI関連株への物色により、日経平均株価が前月末比+16.10%、TOPIX(配当込み)も+6.57%と、ともに大幅上昇しました。ひふみ投信マザーファンドのパフォーマンスは、+6.09%となり、TOPIXに劣後しました。当ファンドでは積極的にAI関連銘柄に投資しながら、より広範に業種や銘柄へ分散投資しています。

当ファンドでは、これまで成長可能性の高いグローバル企業や資本政策の大幅な改善による自助努力で企業価値を向上できる企業、グローバルで付加価値が十分発揮できる日本発のIP・コンテンツ企業、構造的成長が可能な企業への投資を積極的に行なってきました。今後も日本の成長企業にしっかりと投資し、日本を根っこから元気にしていきたいと思えます。

今回はセコムを紹介します。世界の先進国ではすでにリアルセキュリティへの需要が高まってきましたが、今後は構造的に国内でのリアルセキュリティニーズが拡大していくと思えます。セコムはその中核的な存在となると考えています。主力のセキュリティサービス事業では、オンライン・セキュリティシステムを核とした機械警備サービスを提供し、AI、IoT、5G技術を活用した先端セキュリティソリューションを展開しています。日本国内での構造的な変化として、治安の悪化が進む可能性があります。現に「闇バイト」などの犯罪が徐々に増加しており、セコムのオンライン・セキュリティ需要も拡大しています。また、これまでのデフレからインフレへ環境がシフトしてきている中で、今後の資産格差の拡大が、さまざまな社会的な問題に発展する可能性もあると考えられます。また、オンライン・セキュリティサービスにおいてもAIの普及は追い風になります。これまではセキュリティセンサーやカメラの異常検知精度が乏しく、警備員の出動によるコスト増がありましたが、今後AIの発展により異常検知能力も高まりさらなるコスト削減が可能となることに加え、余剰人員を活用した新たなサービス拡大による収益基盤も厚くなると思えます。また、防災事業、メディカルサービス事業、保険事業、BPO・ICT事業など多角的な事業展開により、景気サイクルに左右されにくい安定した収益基盤を持つ点も魅力です。さらにもう一点注目していることが株主還元です。セコムはROE(自己資本利益率)10%を重要な経営指標として位置付けており、今後の利益拡大に加え大規模な自社株買いが必須になります。安定的な利益成長と資本効率改善がセコムの企業価値をもう一段引き上げてくれるものと考えています。

今後も運用チームでは株式(国内・海外)・債券・経済調査チームと積極的なコミュニケーションを通じて長期的に皆様の資産を増やすことのできるポートフォリオを作っていきます。明るい未来を信じ、今後の日本を牽引する成長企業の発掘を運用チーム一丸となって取り組んでいきます。

(5月8日)



ひふみ投信マザーファンド  
ファンドマネージャー  
藤野 英人

※個別銘柄を推奨するものではありません。当資料のコメント等は、発行時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものでもありません。

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

## 運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

2026年4月の米国株式市場は大幅高となりました。S&P500指数は2020年11月以来の上昇率を記録し、月末には終値ベースで史上最高値を更新しました。アマゾンによるAnthropicへの大型投資、ブロードコムがGoogleと人工知能処理に特化したカスタムプロセッサ(TPU)開発の長期契約発表、オラクルとアマゾンウェブサービスの提携など、AIに対する前向きなニュースが相次ぐ中で、半導体株の上昇が目立ちました。

2026年4月の投資行動については、イランでの戦闘行為の終結のタイミングに関係なく、エネルギーのサプライチェーンの障害は中長期的の問題になったと考えたこと、それに伴い中東など一部地域の景況感や金融システムにも影響は避けられないと考えたことから、ポートフォリオのリスクをより抑制する方向の入れ替えを行ないました。シーメンスなどこれまで大きくウェイトを取っていた資本財セクターのウェイトを削減し、ハリバートンなどのエネルギー、アストラゼネカなどの製薬、バンク・オブ・アメリカなどの銀行セクターのウェイトを引き上げました。

米国とイランの関係が泥沼化するにつれて、原油価格の上昇、サプライチェーンの混乱による資材不足など、実体経済への影響が出てきています。日本ではどちらかというとネガティブなニュースが溢れ、これが実体経済の不透明感を高めています。日本にいと、世界経済は丸ごと不況に突入するのではないかという錯覚に見舞われます。しかし、アメリカの消費者は驚くほどこれらの事象を気にしていません。ガソリン価格が1ガロン4ドルを超えてもあまり気にしている様子はありません。実際問題、原油相場が1バレル100ドルを超えることもガソリン価格が4ドルを超えることも今回が初めてというわけではなく、着実に上昇した所得を背景に米国は力強い消費が続いています。上記の通り、投資行動としては資本財のウェイトを落とすなど、リスクを抑制する行動を取りましたが、世界最大の経済国である米国民が自信を失っていない限り、過度なリスクの抑制もまた適切ではないと考えています。私たちも先入観にとらわれないよう、冷静に数字を見ながら、取材、リサーチ活動を継続してまいります。今後もひふみらいとをよろしく願いいたします。

(5月7日)



※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

### 2つの危機下で、世界株最高値更新

#### AI&半導体ブームが業績・株価を押し上げ



世界株は、2月末以降のイラン戦争とオイルショックという「2つの危機」に対して下落・調整相場になりましたが、3月30日前後を境に上昇に転じ、4月は新値更新など最高値圏で推移しました。米国とイランは4月7日に2週間の停戦で合意し、パキスタンのイスラマバードで第1回の停戦交渉(4月11~12日)を行ないましたが、ホルムズ海峡や核開発問題などに対する両国の隔たりが大きく、合意に至りませんでした。停戦協議は継続ながら、不安定な停戦状態です。

米国のトランプ政権は11月の中間選挙を控えて油価沈静化など早期の戦争終結を目指す一方で、イランの核開発に対してオバマ政権時2015年にイランと結んだ核合意(第一期のトランプ政権が「甘い」といって2018年に離脱)よりも厳しい条件が不可欠とのスタンスです。戦争を早く終わらせたいが、弱い合意では終われないという二律背反が停戦交渉を難しくしています。一方のイランも早く戦争を終えて経済を立て直したいが、核開発やホルムズで譲歩しすぎると体制が弱く見えて結束が揺らぐという二律背反を抱えています。ただし、イランはトランプ政権によるホルムズ逆封鎖で生命線の原油輸出が絶たれており、時間が経つほどイランの方が苦しくなると推察されます。イランが段階的に譲歩する形で、やや曖昧な妥協に至る可能性が高いとみられ、高騰した油価は軟化方向と推察されます。

主要国の金融政策は、4月会合で日・米・ユーロ圏とも現状維持(政策金利据置)でした。「2つの危機」は原油高を通じて物価上昇と、景気下ブレを同時に招く可能性があります。4月会合は、インフレと景気悪化のどちらが優勢なリスクになるのか、もう少し見極めるための様子見との色彩が強かったと評価されます。今後について米国は当面、政策金利を据え置くとの見方(市場見通し)が優勢です。パウエルFRB議長の任期(5月15日)とウォーシュ新議長への交代、ウォーシュ新体制の金融政策スタンスがどうなるかが注目されます(金融政策を決定するFOMCは12名の合議制で、新体制でハト派/タカ派のバランスがどうなるか焦点です)。一方、ユーロ圏は利上げ見通しが優勢です。ECBは相対的にインフレ警戒、抑制スタンスで「インフレファイター」の色彩が強いとみられています。市場では年末にかけて2回の利上げを予想しています。日銀に対しても利上げ見通しが優勢で、市場は年末にかけて2回程度の利上げを予想しています。

米国を筆頭に世界経済は、「2つの危機」にも関わらず総じて堅調に推移しています。主因として低失業率(底堅い雇用)、AI革命進展(企業行動積極化)、世界的株高(膨大な資産効果)などが挙げられます。企業収益面では、米国企業の業績好調が際立ちます。S&P500種の2026年、27年のEPS(1株あたり利益)予想は各々2桁増益見通しかつ上方修正基調でしたが、3月以降、一段の上ブレになっています。米国景気の失速(景気後退)リスクは当面のところ極めて低いと推察されます。加えて、STOXX欧州600指数もEPS予想が上方修正基調を辿っています。一方、イラン戦争前まで業績モメンタムが良好であったTOPIXのEPS予想はイラン戦争以降、足踏み・軟化となっています。主因は、日本が中東への原油依存度が高く、原油高に伴うコストアップと品不足懸念などが相対的に大きい点です。このようにみると、一部不安材料はありますが、AI&半導体ブームと株高(資産効果)などを背景に世界景気は総じて底堅い展開でしょう。

世界株は、セクターやグループ別で半導体・同製造装置を中核に広義IT(=情報技術+メディア・娯楽)の好調が際立っています。主要国では、AI&半導体ブームの主演企業群を抱える米国株の好調が足元、目立ちます。一方、今後、原油高などに伴うコスト増や、AI革命進展に伴う「影」の部分が顕在化する可能性があり、株式市況は明暗二極化相場が予想されます。やや長い目で、「2つの危機」が収束に向かう場合、主要国の中で政権基盤が最も強固・安定的で成長戦略を指向する日本の高市政権に対する注目度が再び高まりそうです。日本株に対する人気が高まる方向と予想します。

(5月7日)

## 運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。  
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

### 今月のトピック

最近読んで面白かった本、昔読んで影響を受けた本、日々の判断の礎とする本など、皆さんにとって特別な一冊を教えてください。



Fujino Hideto  
**藤野 英人**  
代表取締役社長  
シニア・ファンドマネージャー

船橋洋一さんの『戦後敗戦』。日本は第二次世界大戦でも負けたけれども、そのあと何度も経済的敗北をしている、という話ですが、希望も提示しています。



Yuasa Mitsuhiro  
**湯浅 光裕**  
代表取締役副社長  
最高投資責任者  
シニア・ファンドマネージャー

受験を控えた14歳の時に読んだ『高校放浪記』、遊び呆けの17歳での『徳川家康』(山岡荘八)です。「世界は広く、ガッツと自信を持って自分で生きなければ！」となぜか思った本たちでした。



Ito Tsubasa  
**伊藤 翼**  
アナリスト

『投資家みたいに生きろ』です。学生時代にこの本を読んでレオス・ひふみを知り、その投資哲学に感銘を受け、門を叩き、ご縁があって今の自分が在ります。



Oshiro Shintaro  
**大城 真太郎**  
シニア・アナリスト

『伝説のファンドマネージャーが教える株の公式』。株価を敬うきっかけとなり、この仕事のスキルアップに繋がった実感があります。



Ohara Kenji  
**大原 健司**  
シニア・アナリスト

ベタですけど、沢木耕太郎の『深夜特急』は躍動感があふれてていいですよ。



Kubo Tomohiko  
**久保 智彦**  
シニア・アナリスト

いま読んでいるのは『宮台式人類学——前提を遡る思考』です。そのまま読んで面白い本なのですが、あえて投資に結び付けるのならば、副題の「前提を遡る思考」は投資家的思考そのものだと思います。「○○の○○以前的前提」を忘れたとき、市場が変調するようにも思えます。



Zhou Huan  
**周 歡**  
シニア・アナリスト

『人間失格』です。太宰治にはまったから日本語の勉強を始めました。

## 運用メンバーからのメッセージ



Sugino Ryosuke  
杉野 僚祐  
アナリスト

スコット・カーニーの『サバイバルボディー』です。短パンでキリマンジャロを登ったり北極海を泳いだりした人が、如何にして寒さに耐える能力を手に入れたのかを解説してくれます。大学時代に影響を受けて滝行とかしました。奇しい本です。



Senoh Masanao  
妹尾 昌直  
運用本部長  
シニア・アナリスト

『マネー革命』という本でもありドキュメンタリー番組です。こんな世界があるのかと、夢中で読んだ記憶があります。



Takahashi Ryuhei  
高橋 龍平  
アナリスト

『沈まぬ太陽』を読んで、アフリカに行ってみたくになりました。



Takahashi Ryo  
高橋 亮  
運用副本部長  
海外株式戦略部長  
シニア・ファンドマネージャー

高校の頃、背景を知った上で森鷗外の『舞姫』を読み「文豪と呼ばれる人が書けばこんな大して面白くもない話が名作扱いになるのか」と唖然とした記憶があります。



Naito Makoto  
内藤 誠  
国内株式戦略部長  
シニア・ファンドマネージャー

ピーター・ティールの『ZERO to ONE』を学生時代に読み、起業・イノベーション・投資について深く考えるきっかけをもらいました。



Nagashima Yutaro  
永島 優太郎  
アナリスト

『方法序説』です。比較的平易な内容ながらも、脆弱な知性のうえに解を求める人にとっての導となるような名著だと思います。



Namiki Koji  
並木 浩二  
小型株式戦略部長  
シニア・ファンドマネージャー

どんな本を読んでも新しく知ることが多いですし、一言でも心に残るフレーズがあれば素晴らしい本とってしまいます。本そのものが「特別」なものです。

※個別銘柄を推奨するものではありません。当資料のコメント等は、発行時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではありません。

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください。

## 運用メンバーからのメッセージ



Hashimoto Yuichi  
橋本 裕一

マーケットエコノミスト  
兼ファンドマネージャー

『三猿金泉秘録』。相場の教科書です。



Fukumuro Mitsuo  
福室 光生

債券戦略部長  
シニア・ファンドマネージャー

置き場所に困るくらい本が好きなのですが、『投資は金利が9割』という本は表題に違和感があるし、題名と中身が合っていないとも感じました。何卒よろしくお願いたします。



Hong Minh  
洪 民鎬

アナリスト

子供の時は『利己的な遺伝子』です。この本のおかげであらゆる人間の行動・社会現象が進化学の観点から理解できるようになりました。投資を始めた直近2~3年間で言う『Poor Charlie's Almanack』です。投資とはひとつの分野ではなく、物理学・生物学・心理学・経済学・歴史など多岐にわたる総合アートであるという主張に深く共感しているためです。



Matsumoto Ryoga  
松本 凌佳

ファンドマネージャー

『一汁一菜でよいという提案』です。食事に対する悩みから解放されました。



Mizuse Kiminobu  
水瀬 公脩

アナリスト

社会人になり立ての頃に手に取った『獅子のごとく』。この本に触発されスーツから塩が吹くまで外回りしていた時が懐かしいです。



Miyake Kazuhiro  
三宅 一弘

経済調査室長  
シニア・マーケットエコノミスト

堺屋太一、ピーター・ドラッカーの両先生の著書から、とても多くのヒントを頂きました。



Watanabe Shota  
渡邊 庄太

シニア・ファンドマネージャー

『福翁自伝』など明治の私学創設者たちの著作をあらためて読んでみて、往時の社会課題に対して教育を通じてどのように解決を図ろうとしたのか、それぞれの違いがあり面白かったです。

## セミナーなどのお知らせ

公式ウェブサイトの「[セミナー・イベント](#)」ページで詳細のご確認やお申込みができます。  
このほかのセミナー日程は開催が決まり次第、随時更新してまいります。

### 月次運用報告会 ひふみアカデミー

ファンドの運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明いたします。投資信託の運用状況について知りたいという方はもちろん、経済環境や株式市場について勉強したい、この先の経済見通しを知りたい方におすめのセミナーです。

ひふみアカデミー 2026年4月度【ライブ配信】 (ひふみ投信、ひふみワールド、ひふみクロスオーバーpro)*	5月15日(金) 19:00~20:00
ひふみアカデミー 2026年4月度【オンデマンド配信】 (ひふみらいと、ひふみマイクロスコープpro、アナリスト調査最前線)	5月中を予定しております。
ひふみアカデミー 2026年5月度【ライブ配信】 (ひふみ投信、ひふみワールド、ひふみクロスオーバーpro)*	6月10日(水) 19:00~20:00
ひふみアカデミー 2026年5月度【オンデマンド配信】 (ひふみらいと、ひふみマイクロスコープpro、アナリスト調査最前線)	6月中を予定しております。

\*リアル会場とYouTube配信のハイブリッド開催です。

○リアル会場 当社セミナールームで開催いたします。※観覧には事前申し込みが必要です。

○YouTube配信 [ひふみ公式チャンネル](#)より、ライブ配信いたします。ご質問は当日ご案内するLiveアンケートから承ります。

※開催日程は作成日時点のものです。今後予告なく変更されることがあります。

## ひふみのおすすめのコンテンツをご紹介します

皆様いかがお過ごしでしょうか？ついに春が到来しましたね。  
移動時間にも気軽に楽しんでいただける、ひふみのおすすめコンテンツをご紹介します！

### ひふみラボnote「叡王戦スペシャルインタビュー」



ひふみラボnoteの叡王戦観戦記を楽しみにしてくださっているファンの皆様にお届けしたいと思い、今回は特別に伊藤匠叡王、挑戦者の斎藤慎太郎八段にインタビューをお願いしました！ぜひご覧ください。

【記事】[第11期叡王戦特別インタビュー 伊藤匠叡王と藤野英人が語る「決断の思考法」](#)  
【記事】[もう一度、この舞台へ——斎藤慎太郎八段が語る叡王戦挑戦と“進化”](#)

### YouTubeチャンネル「お金のまなびば！」



棋士の伊藤匠叡王と中村太地八段、将棋親善大使の伊藤かりんさんをお招きして公開収録を行いました。普段聞けない裏話はもちろん、ファンの方からの気になる質問にも答えていただきました！

- ①伊藤匠叡王・中村太地八段が登場！勝負に臨む棋士のルーティンを大公開！
- ②“潮目”を読むとは？棋士の思考を深掘り！
- ③厳しい局面の決断はどうする？
- ④人生にもお金にも「持ち時間」がある？！
- ⑤「読み」の力で投資家体験！棋士が投資銘柄をガチ分析

### ひふみ公式LINEアカウント

お客様に向けてLINEでの情報提供をしています。

LINEお友だち登録は[こちら](#)▶

またはLINEにて「ひふみ」で検索



ひふみ

### ひふみ公式アプリ「てのひらひふみ」

「てのひらひふみ」では、資産推移をひと目で分かりやすく、いつでもどこでも手もとから確認することができます。

アプリダウンロードは[こちら](#)▶



## ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

### ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

### ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## 投資リスク

### ■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券(外国の証券には為替リスクもあります。)に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様(受益者)に帰属します。

- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場に 関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場(新興国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

## ■お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信(ご参考)	ひふみワールド(ご参考)
商品分類	追加型投信/内外/資産複合	追加型投信/内外/株式	追加型投信/海外/株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金共に、毎営業日の午後3時30分までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。		
	NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。	NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」および「つみたて投資枠(特定累積投資勘定)」の対象です。	
	詳しくは、販売会社にお問い合わせください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

## ■お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信(ご参考)	ひふみワールド(ご参考)
運用管理費用(信託報酬)	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>0.55%(税込)</b> を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率 <b>0.0022%(税込)</b> 実質的な負担※：純資産総額に対して年率 <b>0.5522%(税込)程度</b>	信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>1.078%(税込)</b> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>1.628%(税込)</b> を乗じて得た額
その他費用・手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用(監査費用)およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。 監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等は都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税等)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用(監査費用)およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。	

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

## ■ 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

## ■ ファンドの関係法人

委託会社:レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会 一般社団法人資産運用業協会  
受託会社:(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社  
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
販売会社:レオス・キャピタルワークス株式会社

## ■ 各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社  
コミュニケーション・センター  
電話:03-6266-0123 メール:cc@rheos.jp  
受付時間:営業日の9時~17時  
ウェブサイト:<https://www.rheos.jp/>